

# WordPress引越し手順（移行先にWordPressが無く、新規で移行する場合）

## 0. 事前準備

★移行元および移行先で、phpMyAdminにログインできるか確認する  
サーバーのコントロールパネルの情報があればそこからログイン可能。  
なければ、phpMyAdminを公式サイトよりダウンロードし、それをサーバーにアップしてURLで叩く。

▼ログインにあたり必要な情報  
(青文字はログインの際に必要なが、以降で必要になるので合わせて確認する)

- My SQLのホスト名、ユーザー名、パスワード
- WordPressのためのデータベース名

★My SQLのユーザー名とパスワード名が正しいのに phpMyAdminに接続できない場合

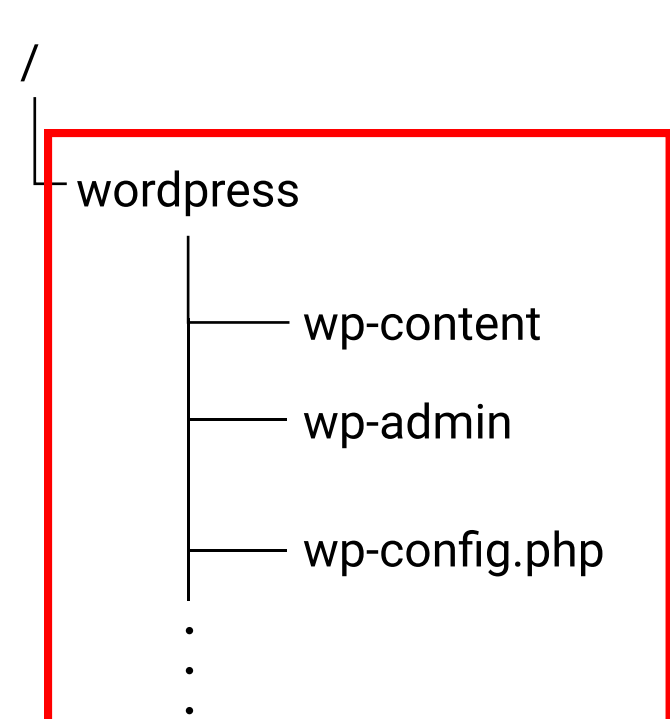
phpMyAdminフォルダ内にある、**config.sample.inc.php**の31行目の hostがlocalhostのままである可能性が高い。

このファイルをコピーして、config.inc.phpとリネームしたファイルを用意し、host名をwp-config.phpと同じものに設定する(=MySQLのホスト名と同じにする)

## 1. 移行元から、WordPressに関わるファイル群をダウンロードする

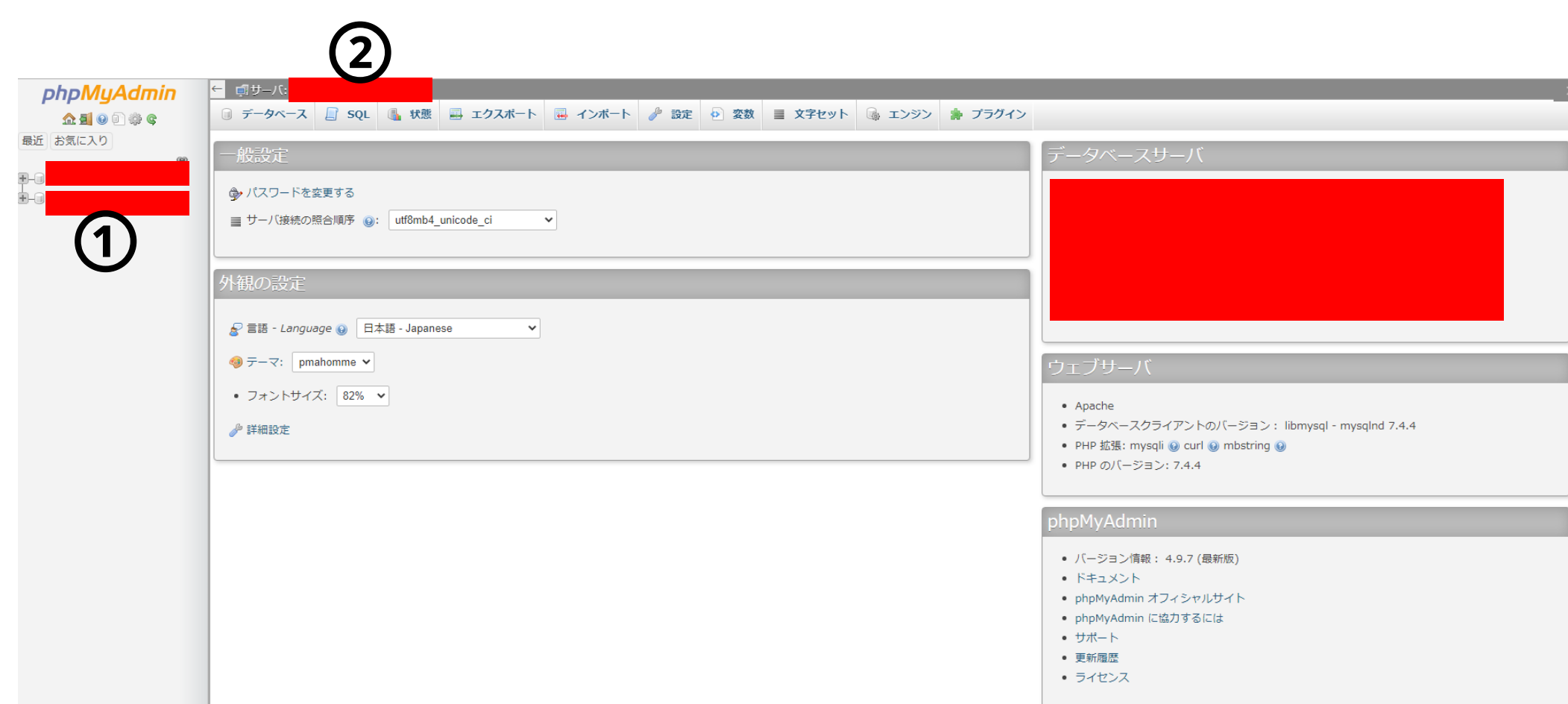
移行元のサーバーに上がっているWordPressに関わるファイル群をローカルにダウンロードする（時間がかかるのでtar.gz化できるならしてもよい）

例えば、ディレクトリ構造が以下のような場合、赤枠をすべてダウンロードします。



## 2. 移行元からDBをエクスポートする

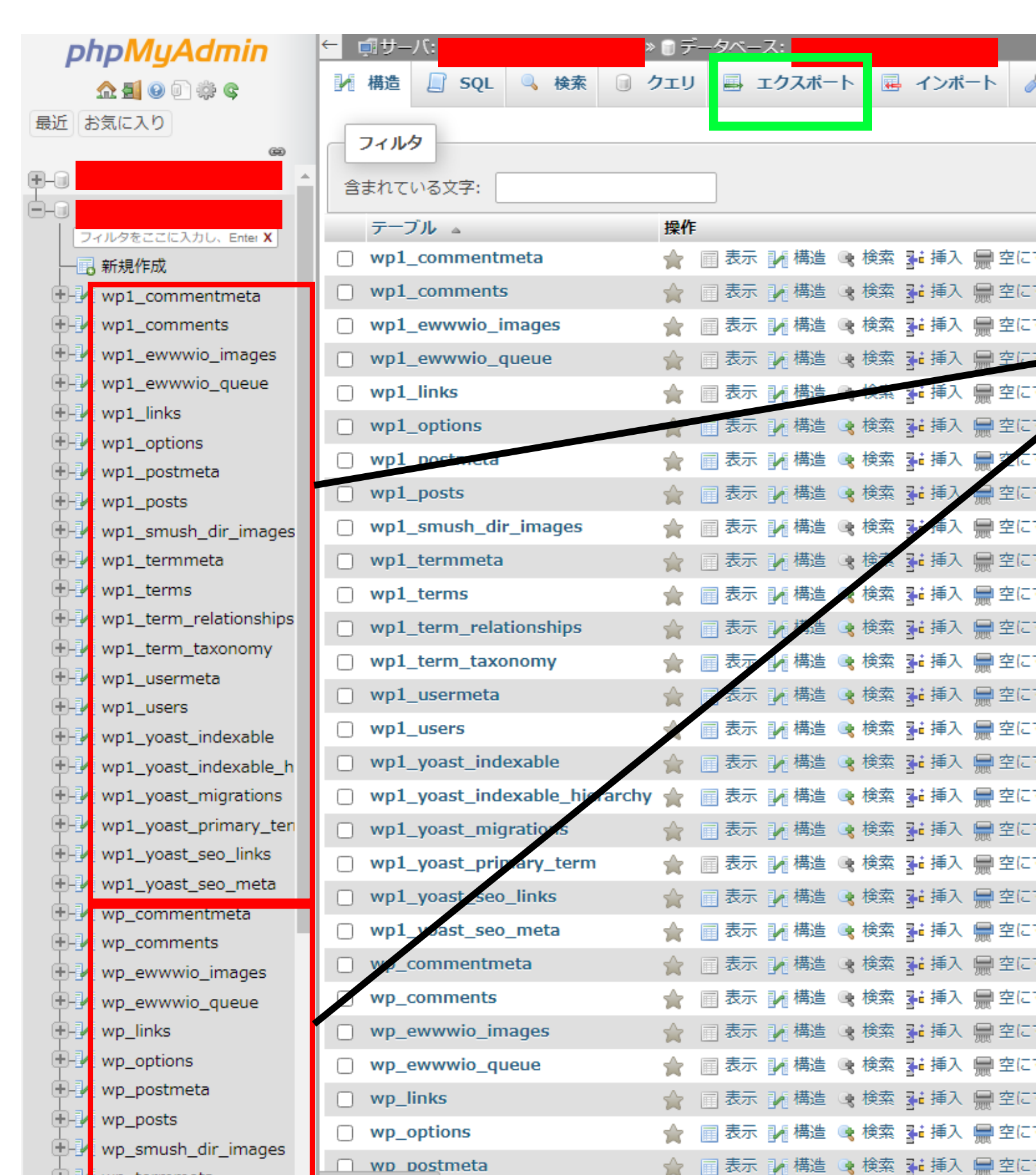
移行元のphpMyAdminへログインします。  
すると以下のような画面になります。（ログインできない場合は、0.事前準備を進めてください。）



①：WordPressのためのデータベース名  
②：MySQLのホスト名

※これらの情報はwp-config.phpに記載されています。

次に、上記①をクリックします。  
すると以下のような画面になります。



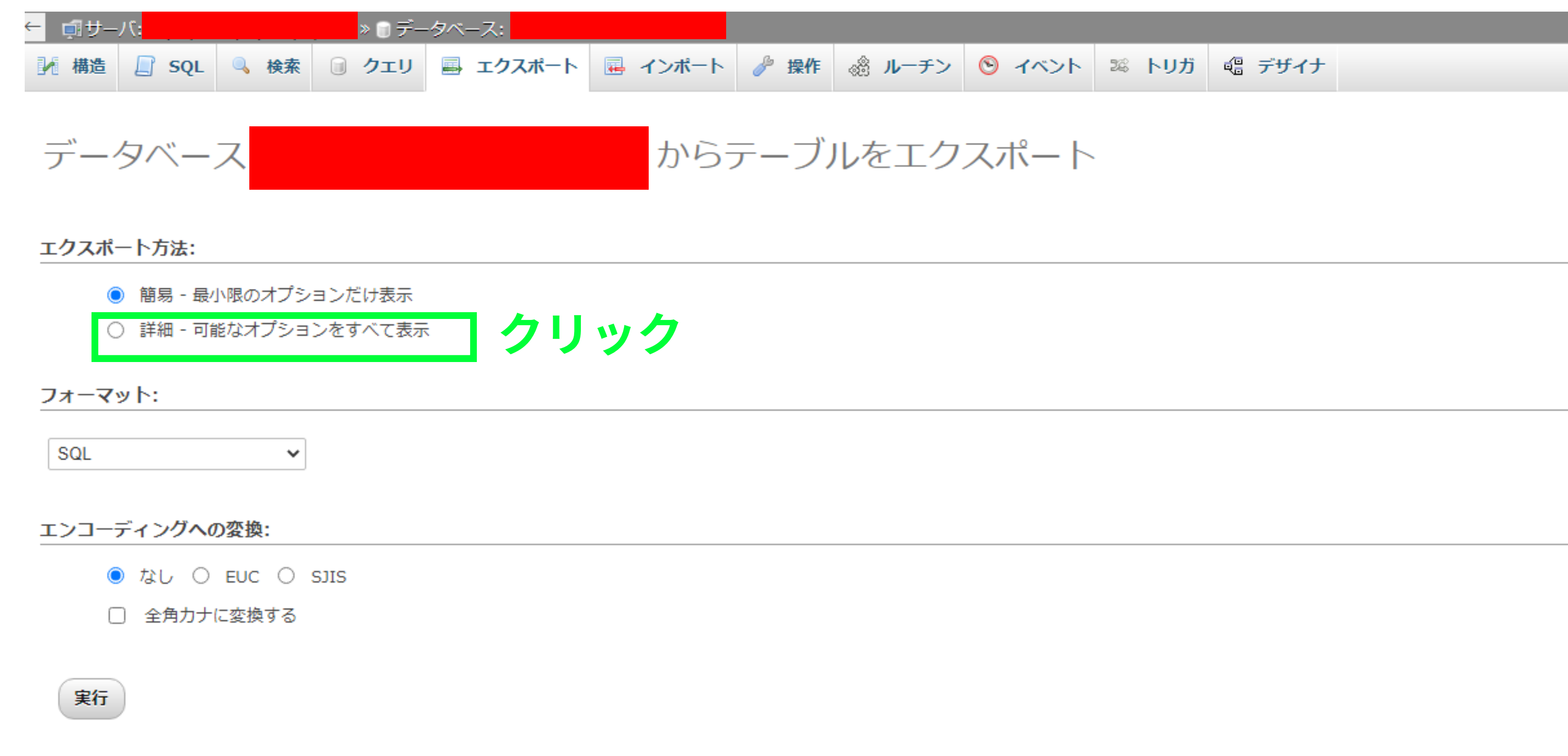
このキャプチャでは、wp1から始まるテーブルと、wpから始まるテーブルがありますね。（接頭辞といいます）この例では、同じデータベースに2つのWordPressの情報がまとまっているということになります。（あまりおすすめはしません）

こういう場合、移行するWordPressのテーブル情報が、どちらの接頭辞から始まるのか、wp-config.phpにて確認します。

★★実際に確認してみると、wp\_のテーブルであることがわかりました。

```
/**
 * WordPress データベーステーブルの接頭辞
 *
 * それぞれにユニーク（一意）な接頭辞を各テーブルに複数のWordPressをインストールすることができます。半角英数字と下線のみを使用してください。
 */
$stable_prefix = 'wp_';
```

どのテーブルをエクスポートすればよいか分かったので、上記キャプチャの緑枠「エクスポート」をクリックします。  
すると以下の画面になります。  
そうしたら、「エクスポート方法」にて、「詳細」をクリックします。

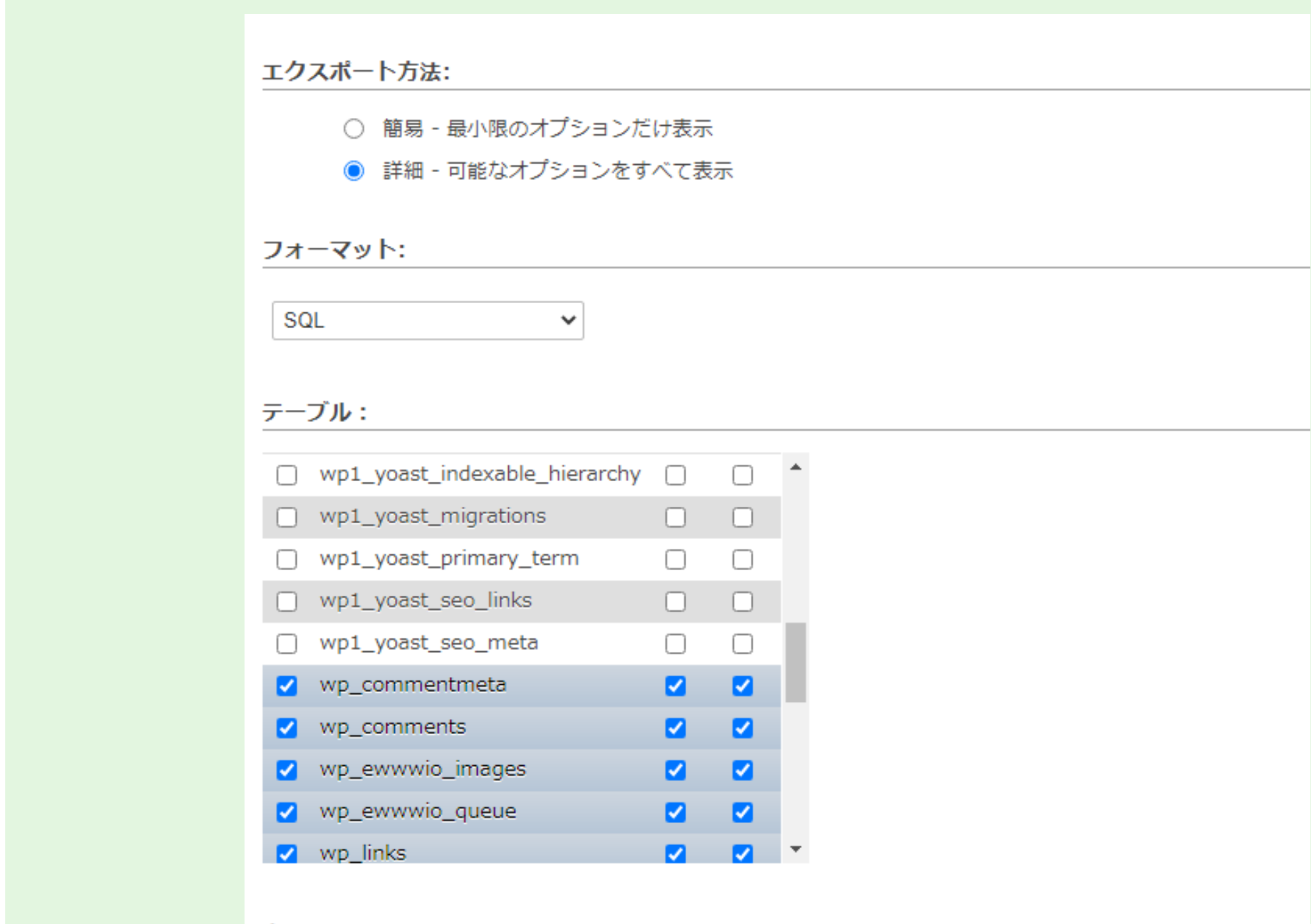


すると、以下の画面になります。



最初は全てのテーブルが選択されている状態です。  
なので、エクスポートしたい接頭辞のテーブルだけを選択します。  
いまのところ手でポチポチクリックしながら選択する方法しかないです。  
量もそこまで多くないので、ミスのないよう丁寧に選択しましょう。

!wp1から始まるテーブルは未選択に変更し、wp\_のみ選択された状態にする。  
(※これら接頭辞の名前は適宜ご自身の作業されているテーブル名に置き換えてお読みください。)



次に、下にスクロールしていくと「生成オプション」という項目があるので、以下緑枠部分にチェックを入れます。



ここまで、完了したら一番下までスクロールし、「実行」を押してエクスポートしましょう。



エクスポートが完了すると、「データベース名.sql」ファイルがローカルにダウンロードされます。  
これをVsCodeなどのエディタで開き、一番下の行に、以下3行があることを確認してください。

```
/*!40101 SET CHARACTER_SET_CLIENT=@OLD_CHARACTER_SET_CLIENT */;
/*!40101 SET CHARACTER_SET_RESULTS=@OLD_CHARACTER_SET_RESULTS */;
/*!40101 SET COLLATION_CONNECTION=@OLD_COLLATION_CONNECTION */;
```

以上で、移行元での作業は終了です。  
次からは、いよいよ、移行先にインポート等をおこなっていきます。

とりあえず最新バージョンが良いが、移行先サーバー側のPHPのバージョンとマッチしないケースがある。  
その際はこちらからPHPバージョンと合うものをダウンロード

